

Windows 講座

2020年12月15日
パソコンを使いこなす会

【第18回分科会のテーマ：－パソコンのスペック－】

使っているパソコンのCPUやメモリ・HDD(SSD)の空容量を知っていますか。これらの情報は、普通にパソコンを使うだけなら、それほど必要になることはありません。

しかし、場合によってはこれらの情報が必要となります。たとえば、パソコンやソフトの不具合をメーカーに問い合わせる場合に、CPUやメモリの情報を問われることがあります。

また、何かのソフトをインストールする場合に、メモリ容量が気になることがあります。グラフィック関係のソフトの中には、メモリ容量が小さくないと動作が大幅に遅くなるものがあります。また、画像や動画を大量に保存する場合には、HDD(SSD)の空容量を把握しておく必要があります。

このように、パソコンのスペックが必要になった場合のために、スペックの確認方法を理解しておきましょう。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. OS、CPU、搭載メモリ容量の確認 | 4. システム情報 |
| 2. ドライブの容量 | 5. パソコンのスペックを確認する理由 |
| 3. グラフィック | 付録：パソコンのスペックの記録 |

【具体的内容：－パソコンのスペック－】

1. OS、CPU、搭載メモリ容量
 - A) 「設定」で確認
 - ① パソコン画面の左下にある「スタート」をクリック
 - ② 「設定」をクリック
 - ③ 「Windows の設定」画面の左側上部にある「システム」をクリック
 - ④ 左側に並ぶ項目の一番下にある「バージョン情報」をクリック

➤ パソコンの情報が一覧で出てくる

詳細情報

お使いの PC は監視されており、保護されています。

[Windows セキュリティで詳細を確認する](#)

デバイスの仕様

デバイス名	Hiro-DELL-XPS
プロセッサ	Intel(R) Core(TM) i7-3517U CPU @ 1.90GHz 1.90 GHz
実装 RAM	8.00 GB (7.88 GB 使用可能)
デバイス ID	444E3531-C474-474B-9B92-0EA8875B417B
プロダクト ID	00330-80000-00000-AA799
システムの種類	64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ
ペンとタッチ	10 タッチ ポイントでのタッチのサポート

コピー

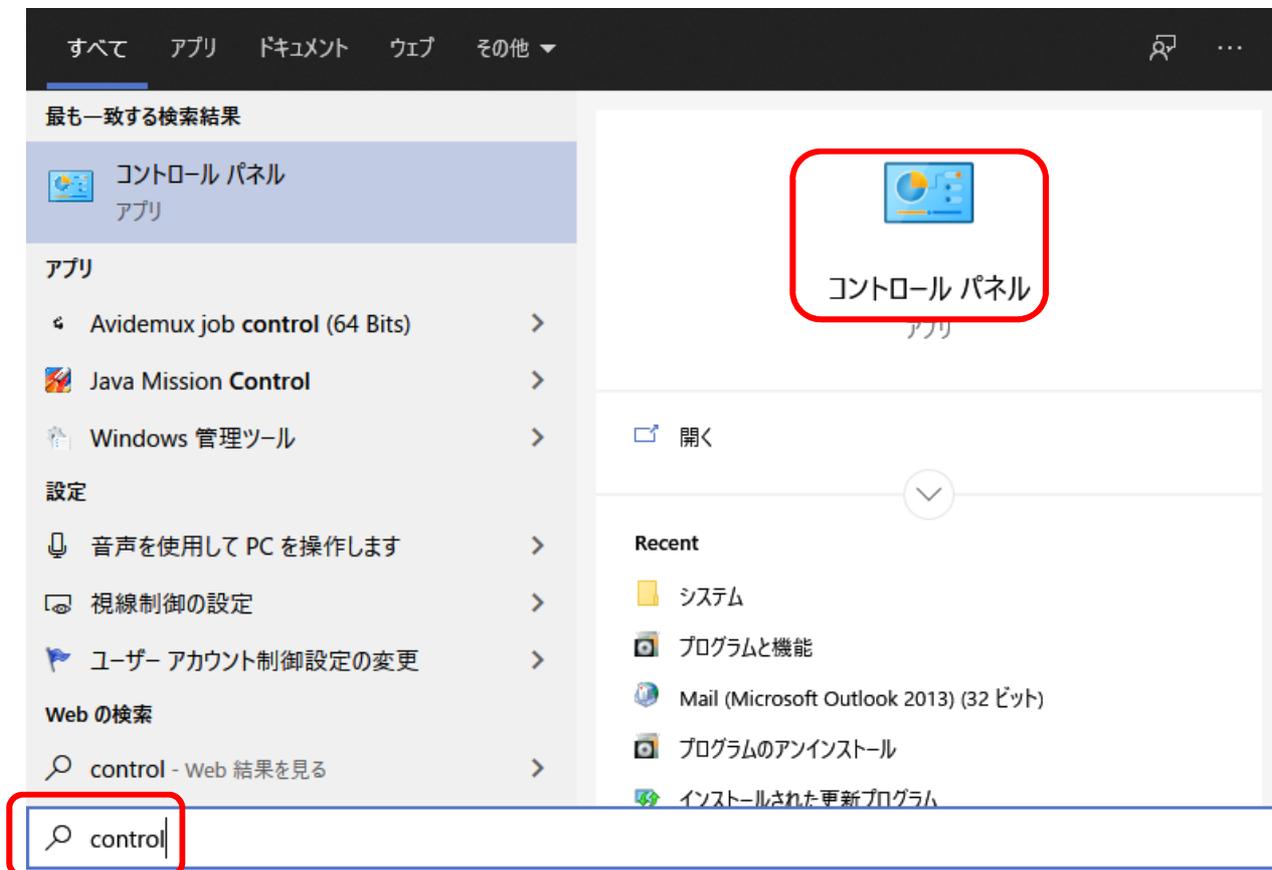
この PC の名前を変更

Windows の仕様

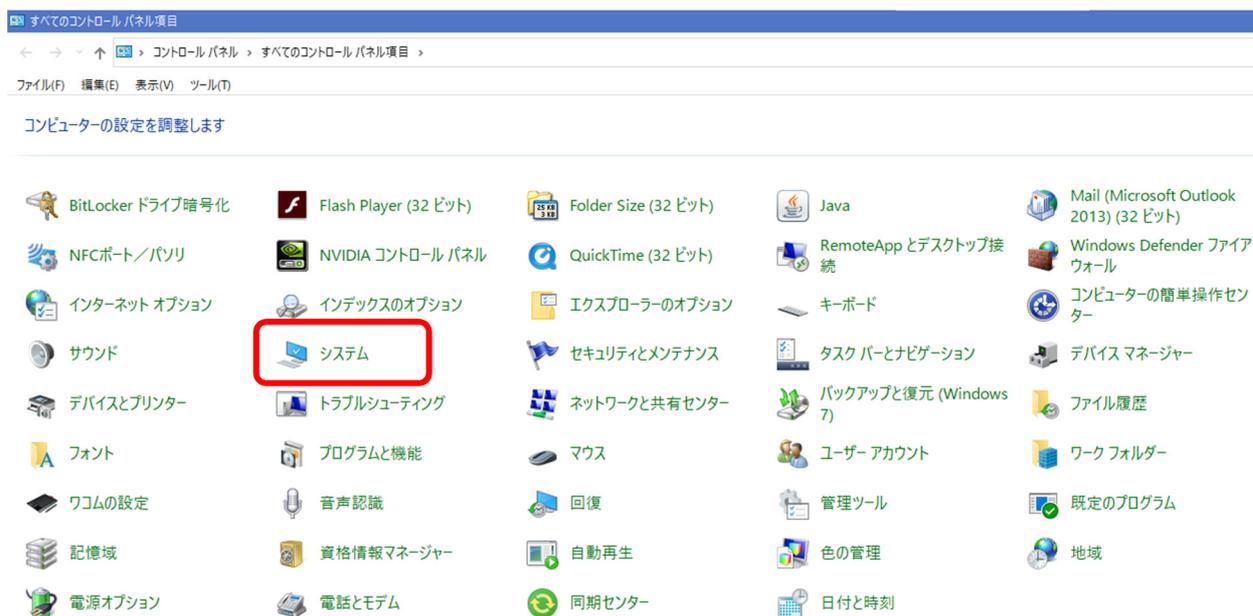
エディション	Windows 10 Pro
バージョン	20H2
インストール日	2020/10/14
OS ビルド	19042.662
エクスペリエンス	Windows Feature Experience Pack 120.2212.551.0

B) 「コントロールパネル」で確認

- ① タスクバーの「検索」をクリック
- ② 「検索」窓に「Control」と入力
- ③ 検索結果で出てくる「コントロールパネル」をクリック



- ④ コントロールパネルが開く。



- ⑤ 「システム」をクリック

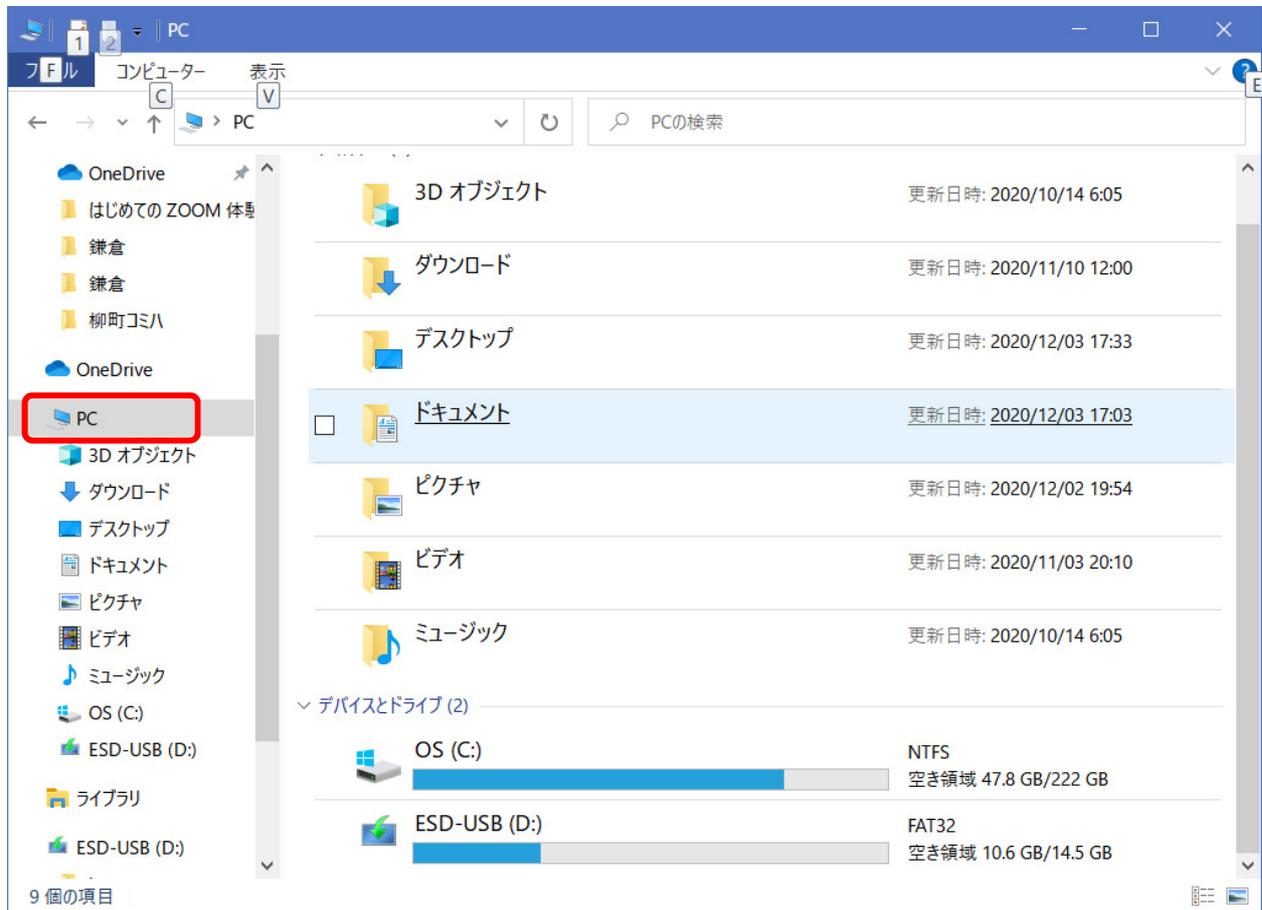
➤ 「コンピューターの基本的な情報」が表示される

The screenshot shows the Windows 10 System Control Panel window. The title bar reads 'システム' (System). The address bar shows the path: 'コントロール パネル > すべてのコントロール パネル項目 > システム'. The search bar contains 'コントロール パネルの検索'. The left sidebar includes 'コントロール パネル ホーム', 'デバイス マネージャー', 'リモートの設定', 'システムの保護', and 'システムの詳細設定'. The main content area is titled 'コンピューターの基本的な情報の表示' (Display basic computer information), which is highlighted with a red box. Below this title, the Windows edition is shown as 'Windows 10 Pro' with the copyright notice '© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.' and the Windows 10 logo. The 'システム' (System) section lists hardware specifications: 'プロセッサ: Intel(R) Core(TM) i7-4930K CPU @ 3.40GHz 3.70 GHz', '実装メモリ (RAM): 32.0 GB', 'システムの種類: 64 ビット オペレーティングシステム、x64 ベース プロセッサ', and 'ペンとタッチ: このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません'. The 'コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定' (Computer name, domain, and workgroup settings) section shows: 'コンピューター名: Hiro-Mouse-Computer', 'フルコンピューター名: Hiro-Mouse-Computer', 'コンピューターの説明:', and 'ワークグループ: WORKGROUP'. The 'Windows ライセンス認証' (Windows license authentication) section states: 'Windows はライセンス認証されています。 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を読む' and 'プロダクト ID: 00330-80000-00000-AA720'. At the bottom left, there are links for '関連項目' (Related items) and 'セキュリティとメンテナンス' (Security and maintenance).

2. ドライブの容量

A) 「Explore」で確認

- ① タスクバーの「Explore」ボタンをクリック
- ② 「PC」をクリック



B) 「設定」で確認

- ① 「スタート」を右クリックして、表示されたメニューから「設定」を選ぶ
- ② 「Windows の設定」画面が表示されるので「システム」をクリック
- ③ 左の項目にある「記憶域」をクリック
 - この画面で HDD 容量を確認できる
 - 不要なファイルの削除やドライブの最適化などもできる



3. グラフィック

- ① 「設定」を開いて「システム」を選択
- ② 左メニューの「ディスプレイ」を選択
- ③ 画面右側をスクロールして「ディスプレイの詳細設定」をクリック

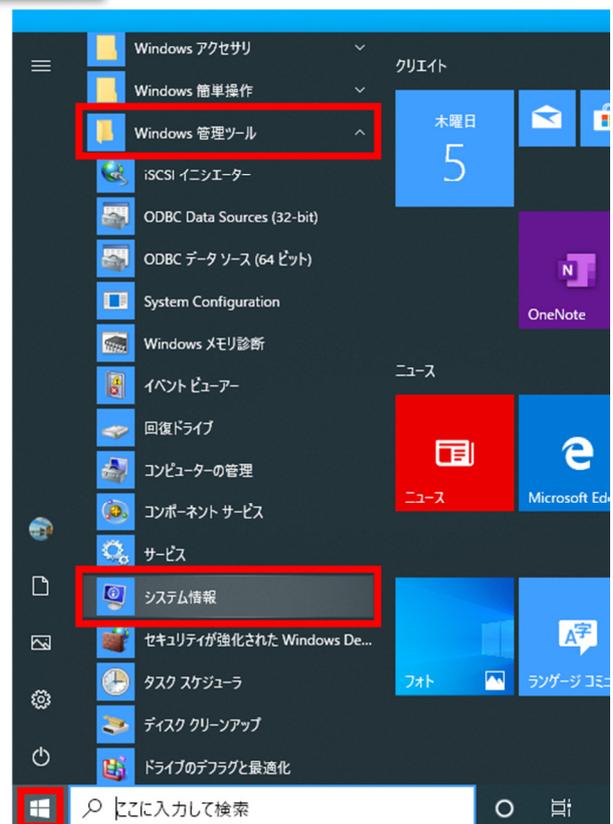
- グラフィックアダプタの詳細画面が開いて、グラフィックメモリの容量が確認できる



4. システム情報

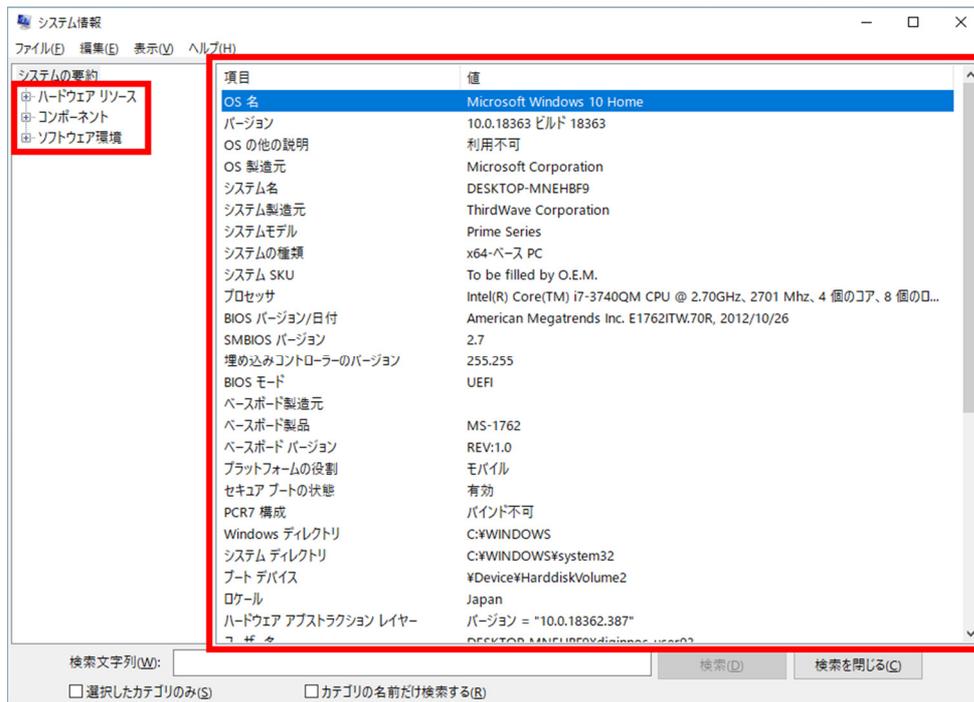
A) 「すべてのアプリ」で確認

- ① 「スタート」をクリック
- ② すべてのアプリ欄で「Windows 管理ツール」フォルダーをクリックして開ける
- ③ 「システム情報」をクリック



➤ 「システム情報」画面が表示される

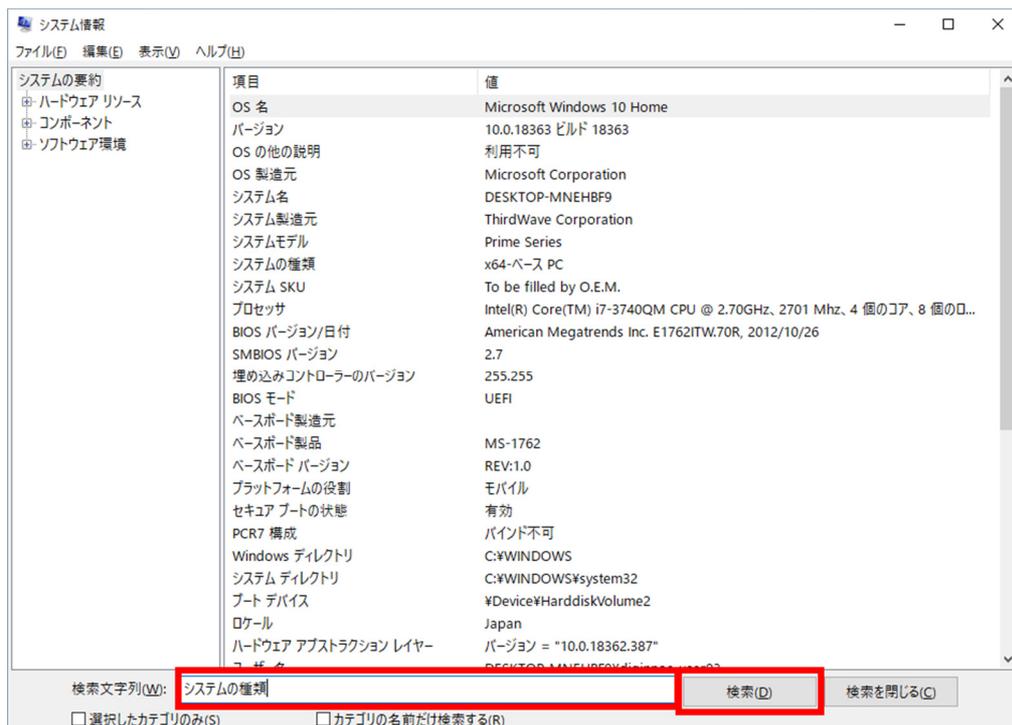
画面右側の「項目」/「値」欄に OS のバージョン、システムモデル(パソコンの型番)等、システムの詳細を確認することができる



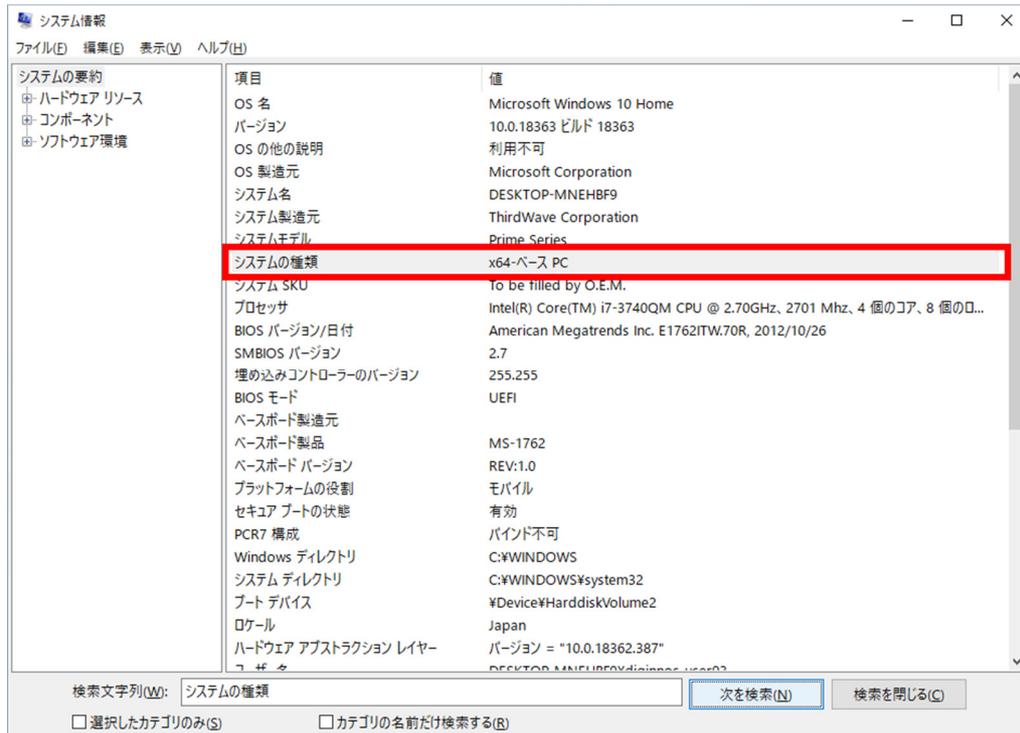
➤ 画面左側の「システムの要約」欄の「ハードウェアリソース」/「コンポーネント」/「ソフトウェア環境」をクリックするとそれぞれのシステムの詳細が表示され、確認することができる

■ 「システム情報」内の検索

- ① 「システム情報」画面下の「検索文字列(W):」ボックスをクリック
- ② システム情報のキーワード(例:「システムの種類」)を入力
- ③ 「検索(D)」をクリックする

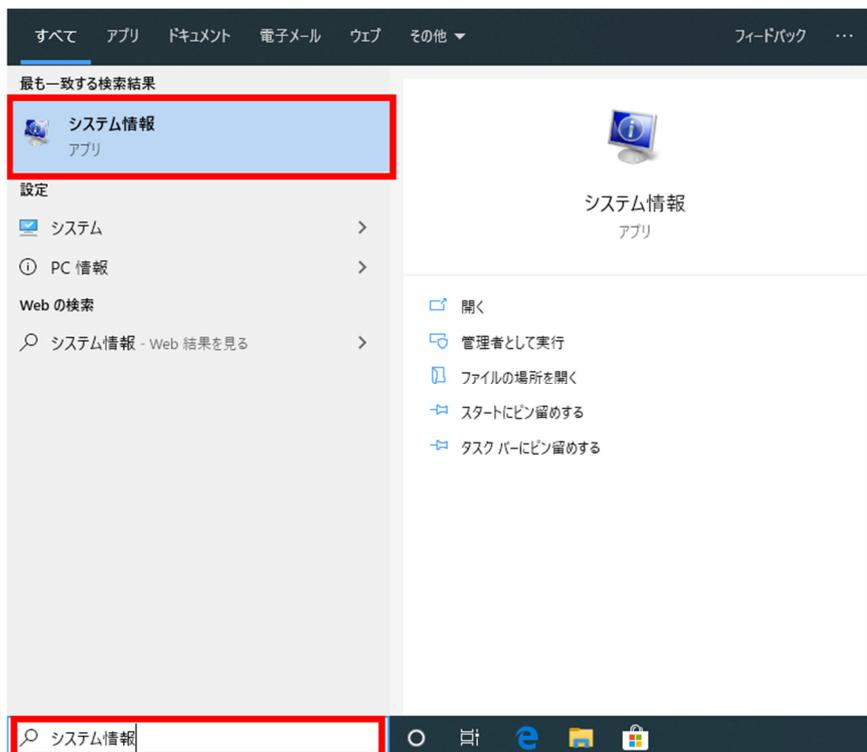


➤ 「システムの種類」が検索される



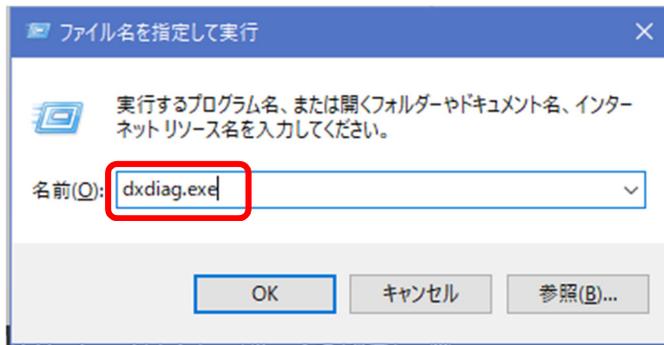
B) 「システム情報」で確認

- ① 検索ボックスに「システム情報」と入力
- ② 検索された一覧から「システム情報」をクリック



C) 「dxdiag.exe」で確認

- ① Windows キーと「R」キーを一緒に押す
- 「ファイル名を指定して実行」画面が出る



② 「dxdiag.exe」と入力し「OK」を押す

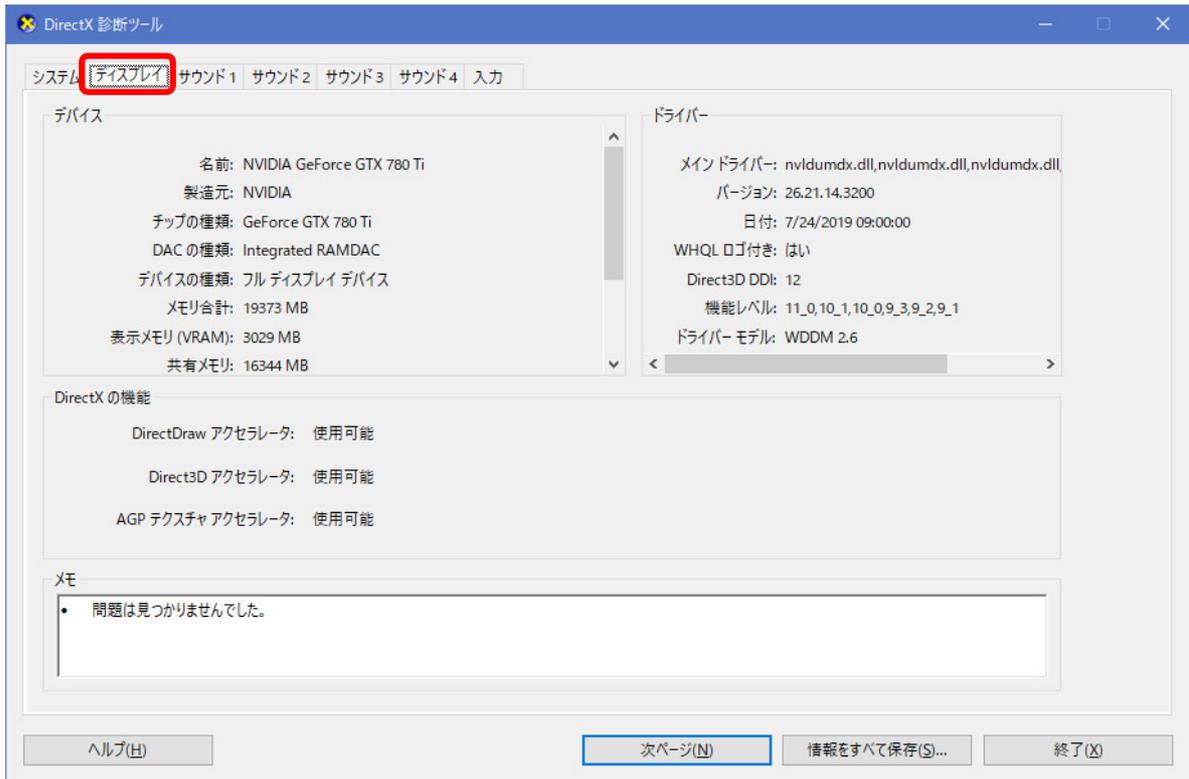


➤ 「DirectX 診断ツール」画面が表示される。

③ 「システム」タブを選ぶ

➤ 「システム情報」欄でプロセッサ(CPU)、メモリ、DirectX のバージョンなどの情報が確認できる

④ 「ディスプレイ」タブを選ぶ



➤ 「デバイス」欄でグラフィックボードの名前やメモリ合計(容量)などの情報が確認できる

D) 「msinfo32」で確認

① 「スタート」を右クリックして「ファイル名を指定して実行」をクリック

② 「msinfo32」と入力して「OK」をクリック

➤ 「システム情報」ツールが起動されてパソコンの詳細な情報が表示される

5. パソコンのスペックを確認する理由

普段パソコンを使う中で、自分のパソコンのCPUやメモリの容量を即座にチェックできる人はどれくらいいるのでしょうか。

これらの情報は、普通にパソコンを使うだけなら、それほど必要になることはありません。

しかし、場合によってはこれらの情報が必要となります。

たとえば、パソコンやソフトの不具合をメーカーに問い合わせる場合に、CPU やメモリの情報を問われることがあります。

また、何かのソフトをインストールする場合に、メモリ容量が気になることがあります。

グラフィック関係のソフトの中には、メモリ容量が小さくないと動作が大幅に遅くなるものがあります。

また、画像や動画を大量に保存する場合には、残りのHDDの容量を把握しておく必要があるでしょう。

このように、パソコンのスペックが必要になった場合のために、スペックの確認方法を覚えておくといいかもしれません。

◇パソコンやソフトの不具合をメーカーに問い合わせる場合

何らかの不具合でパソコンの使用に問題が生じた際は、メーカーに問い合わせると解決でき

ることが多いです。

電話やメールで問い合わせをすると、ほとんどの場合で型番を確認されるでしょう。パソコンのスペックが記載されたバージョン情報を見ながらサポートセンターに伝えることで、担当者はスムーズに対応でき、効率よく問題の解決に導いてくれます。

問い合わせるときにパソコンが正常に作動しない状態になってしまい、スペックの確認ができないケースも考えられるので、型番・OS のバージョン・bit 数(ビット数)・サービスパックの有無などの情報をメモしておくのも良いでしょう。

◇何かのソフトをインストールする場合

パソコンにソフトをインストールする際に「動作環境」と「推奨環境」という言葉を見聞きしたことはないでしょうか。

「動作環境」とは、ソフトを動かすために最低限必要な環境のことです。「推奨環境」とは、ソフトを快適に動かすために適した環境を指します。

ソフトに対してどちらの環境も満たしていれば快適に使用できますが、最低でも「動作環境」を満たしていなければソフトを使用できません。

何らかのソフトをダウンロードしたり、インストールしたりする前にパソコンのスペックを確認しておけば、使用環境に沿ったソフトを選定して購入できるでしょう。

時間とお金を無駄にしないためにもスペックの確認は必要です。

◇周辺機器を購入する際

周辺機器とはプリンター、USB メモリ、マウス、キーボードなど、パソコンに接続する機器を指します。

ソフトウェア同様、周辺機器が OS のバージョン、bit 数に対応していないと使えない可能性があるため確認が必要です。

「せっかく好みの機器を見つけて購入したのに使えなかった」という残念な結果にならないように気をつけましょう。

■目覚ましいパソコンスペックの向上

パソコンが普及し始めたのは 1990 年代後半ですから、わずか 20 年あまりの間に、パソコンのスペックはすさまじい勢いで向上していきました。

現在のパソコンは、メモリ 8GB、HDD 容量 1000GB くらい普通にあります。しかし、1990 年代はメモリ 1MB、HDD40MB 程度のパソコンがほとんどでした。当時の容量の単位は GB(ギガバイト)ではなく、MB(メガバイト)だったのですから、まさに驚異的に向上したことになります。

もちろん、CPU の性能も当時と比べると格段にアップしています。1990 年代の CPU は 68000/10MHz 程度しかありませんでしたが、現在は 3.40GHz くらいありますから、これはもう桁違いどころではありません。

現在のパソコンは、1990 年代に比べるとまさに夢のようなスペックを持っていることになります。

以上